

山田みやこの活動報告

令和4年9月3日(土)

きれいな水といのちを守る学習会

「プラスチックごみを減らす画期的な方法 ～EUと日本の制度の比較から～」

講師 高橋 若菜氏(宇都宮大学国際学部 教授)

○何が問題か？

20世紀後半から人口増加が加速化

2022年 79億人

2050年 97億人と予測される

1800年から世界のエネルギー消費加速化

○地球温暖化は起きているの？

この170年で世界の平均気温は1°C以上も上がった
気候変動→気候危機

○温暖化は人類が引き起こしたの？

2001年 引き起こした 66%

2007年 引き起こしたことは非常に高い 90%

2013年 引き起こしたことは極めて高い 95%

2021年 人類が温暖化させたことは疑う余地がない
(IPCC第1次～5次評価報告書より)

○このまま二酸化炭素(CO2)等が増加し続けると世界ではどのくらい温度が上がる？

2050年 1.5°C以上の上昇。

1.5°Cを超える場合、多くの人間と自然のシステムが深刻なリスクに直面する確信度が高い。

○温暖化により何が起きているの？

森林火災・干ばつ・水害など極端な現象の頻度と強度の増加。自然と人間への広範囲にわたる悪影響。損失と損害をもたらし、自然の気候変動の範囲を超えて引き起こしている確信度が高い。

○プラスチックはどのくらい増えたの？

1964年 0.15億トン → 2018年 3.59億トン

2010年から安くて便利な使い捨て商品の市場拡大

1990年～ 生物多様性の喪失

○プラスチック製品にはどのようなものがあるの？

容器包装	9.9%	家電・機械・医療用	16.7%
建築・建設	19.8%	電気・電子製品	6.2%
自動車	9.9%	家庭・スポーツ	4.1%
農業	3.4%		

歯磨き粉、洗顔料、化粧品にもマイクロビーズが含まれる。プラスチックは身近な製品で多用されている。私たちの生活がプラスチック問題の原因となっている。

きれいな水といのちを守る学習会

プラスチックごみを減らす画期的な方法

—EUと日本の制度の比較から—

<講師> **高橋 若菜** 氏
(宇都宮大学 国際学部 教授)

専門分野は、環境政治学で、循環型社会や脱炭素社会形成に向けた政策や政治の国際比較研究を主にしています。
著書: 『超環境大気汚染の比較政治学』(単著、千倉書房)
『奪われたくらし 原発被害の検証と共感共苦』(編著、日本経済評論社)など
所属学会: 日本国際政治学会、環境経済政策学会、
廃棄物資源循環学会、国際開発学会
特定非営利活動法人うつのみや環境行動フォーラム理事長

<開催日> 2022年9月3日(土) 14:00 ~ 16:00
受付開始 13:45~

<会場> 宇都宮市 環境学習センター 4F 研修室 住所: 宇都宮市茂原町777-1

<参加費> 資料代 500円 ※参加定員: 先着30名(申込順)
*参加者はマスクを着用ください。当日、発熱や咳などある人は参加を控えてください。
主催: きれいな水といのちを守る一せつけんネットワーク節水

○今後どれほど増えると予測されているの？

・プラスチック生産
2014年 3.11億トン
2050年 14.24億トン

・海中の魚とプラスチックの割合
2014年 プラスチック 1：魚 5
2050年 プラスチック 1：魚 1

・世界の石油消費におけるプラスチック割合
2014年 6%
2050年 20%

・炭素予算に占めるプラスチックの割合
2014年 1%
2050年 15%

○廃棄されたプラスチック容器包装はどこへ？

32%がごみ処理されず生態系に流出している

○どのようにしてプラスチックは海に流出するの？

毎年約2,500万トンが生態系へ流出。うち800万トンが海へ流出。

○海洋プラスチックは生態系へどの様に影響及ぼすの？

9割の海鳥が生涯に一度はプラスチックを飲み込んでしまう。557種の海洋生物がプラゴミの誤食と絡まりによって被害を受けている。

○プラスチック使用に伴う健康被害はあるの？

アメリカ疾病管理予防センターによると6歳以上の2,517人の93%の体内からBPAが確認され、母乳からも検出されている。BPAが女性ホルモンと似た働きをしてしまうためホルモンバランスが乱れる。

○途上国では何が起きているの？

プラスチック、ビン、缶、紙が急増。都市人口が急増しスラム化・貧困拡大・プラスチックを多く含むゴミ山が各地に。劣悪な子どもの労働環境(ゴミ拾いで稼ぐ)、貧困の連鎖。

○日本のプラスチックごみは途上国と関係あるの？

2017年まで6~7割が中国へ流出。2018~19年に相次いで中国・マレーシア・タイ・インドで輸入禁止。日本はプラスチックごみの今後の処理について対策が求められてる。輸出できなくなった分、サーマルリサイクルの割合が増加。

○国際社会の対応

気候変動枠組条約パリ協定(2015年)先進国・途上国ともにゼロカーボンを目指し、5年ごとに計画をレビュー。海洋プラスチック憲章(2018年)では発生の抑制が記載されているが、日本は現状からなかなか受け入れられずレジ袋有料化ぐらい。

EUでは使い捨てプラスチック流通禁止指令(2019年)、スーパーのレジ袋、青果の量り売り、ペットボトルのデポジット、給水スポットを街頭に設置。

※リフィルうつのみや設立検討中

誰でも無料で水道水を補給できる「給水スポット」を設置し、ペットボトルの使い捨て容器の利用を減らし、環境負荷の低減、魅力的なまちづくりを推進。宇都宮市でも給水スポット協力店舗を募集中。

リフィルうつのみや
設立検討委員会

日本全国に、誰でも無料で水道水を補給できる「給水スポット」を増やし、ペットボトル等の使い捨て容器入り飲料の利用を減らして環境負荷の低減・魅力的なまちづくりを推進する活動のプラットフォーム、それがRefill Japan (リフィル・ジャパン)です。

宇都宮市は、「水道水のおいしい都市32選」に選ばれています。私たちはおいしい宇都宮の水道水を活かして、「リフィルうつのみや」を立ち上げたいと思っています。

ペットボトルの環境負荷

自然界で何百年も分化解れずに残る

- ・街から川、川から海へ流れたペットボトルが海洋汚染に!
- ・劣化などで微細化し「マイクロプラスチック」になると回収は困難です。
- ・リサイクルからこぼれ落ちるペットボトルが多くあります。

輸送・冷蔵・リサイクルでCO₂を排出

石油資源から作るボトルの生産、重い運搬の輸送、販売段階での冷蔵、飲んだ後のリサイクルの間に多くのCO₂が排出されています。水道水を選べば、CO₂排出量は1/50に減らせます。

給水スポットを使おう!増やそう!

誰もが無料で利用できること
水道水が飲めること

協力団体を募集中!

会費無料!

給水スポット協力店舗を募集中!

飲食店などの既存の給水インフラを活用することで、より多くの給水スポットが利用でき、環境負荷軽減効果も上がります。給水スポットになっていただいた店舗には、Refill Japanの給水スポットマップに掲載し、店舗にステッカーを貼っていただきます。給水スポットになることで、お店の環境・社会貢献の姿勢を示すことができ、新規来店員の獲得にも繋がります。

お問い合わせ先: リフィルうつのみや設立検討委員会
宇都宮大学国際学部UU35プロジェクト(高橋若菜研究室)
NPO法人 うつのみや環境行動フォーラム
〒321-8505 宇都宮市峰町350 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター受付
Mail: refillitsunomiya@gmail.com Tel: 028-649-5196 (平日9:00~16:00) 不在時折り返します

リフィルジャパンHP

Sustainable GOALS